

「骨寺通信」第47号

発行:本寺地区地域づくり推進協議会
岩手県一関市敵美町字若神子241-2 骨寺村荘園交流館内



昔ながらの田んぼで 昔ながらの稲刈り体験

骨寺村荘園 稲刈り体験交流会

10月2日(土)、本寺地区要害館入り口付近の圃場にて『骨寺村荘園 稲刈り体験交流会』が開催されました。例年の『稲刈り祭』から名称を変えて開催された今回は、前日に雨降りとなり天気が心配されましたが、当日は太陽も出てホッとひと安心。今回も荘園オーナーの皆さんをはじめ、全国よりたくさんの方々にご参加いただき、盛大に行なわれました。

開会式では中尊寺・大長寿院の菅原光中住職、光聴法嗣にお越しいただき、安全祈願の御祈禱をいただきました。



農作業も機械化が進み、最近では手刈りで稲を刈ることも少なくなってきました。慣れない手つきの方もいらっしゃいましたが、地元の人たちの指導のもと、きれいに稲が刈り取られていきました。刈り取られた稲は、ほんによに積まれます。昔ながらの小区画水田に、新しいほんによが立ちました。

屋敷は、今年7月にオープンした骨寺村荘園交流館“若神子亭”の南側広場にて、青空のもといただきました。稲刈りの際の定番『刈り上げもち』に、マコモダケを使ったお煮付けなど、本寺の食材をふんだんに使ったメニューはおかわりもたくさん出て好評でした。また、本寺中学校の皆さんによる鶏舞も披露され、大きな拍手が起こりました。



骨寺村荘園で 夕日を見る会

中世の時代より霊山と崇められてきたとされる栗駒山。骨寺村荘園から望む栗駒山には、お彼岸の中日になると、山頂に沈む夕日を拝むことができます。その光景を見ながら、中尊寺に通ずる浄土思想を体感しようとする目的の『骨寺村荘園で夕日を見る会』は、今回で3回目となります。

夕日観察に先立ち、中尊寺・大長寿院の菅原光中住職による講話をいただき、お彼岸の歴史や浄土思想への関係など、ユーモアを交えながらわかりやすく解説していただきました。

過去2回は天気に恵まれず、今年こそはと期待しましたが、惜しくも日没時には山頂に雲がかかり、日が沈むところを見ることは



できませんでした。左の写真は、解散後に見えた光景です。山の向こうからわずかながら光が差し、それはまさに西方浄土を感じさせる光景でした。来年こそは、皆さんそろってきれいな夕日を見たいものですね。



おしらせ 骨寺村荘園収穫祭

と き:平成23年11月6日(日)
10時~15時

ところ:骨寺村荘園交流館“若神子亭”

- ・いもの子汁お振る舞い(限定200食)
- ・一関二高音楽部コンサート 12:00~
- ・餅つき 13:00~
- ・南部一郎かぼちゃの果報だんご、骨寺荘園米のおにぎり、おふかし、野菜、漬物、惣菜等の販売



ご来場お待ちしております!



山の木々も紅葉で紅く染まり、秋真っ盛りな骨寺村荘園。稲刈りのにぎわいもひと段落し、ほんによに積まれた稲を秋風が揺らしています。ここ数日は肌寒い日が増え、やがて来る冬の気配を感じられます。

骨寺村なう。